

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 関数、第2章 関数の極限、第3章 微分法	数列や関数値の極限の概念を理解し、それらの事象を考察できるようにする。	ノート ワーク 小テスト 授業の取組み	○	○	○	17
	第3章 微分法、第4章 微分法の応用、第5章 積分法とその応用	微分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	ノート ワーク 小テスト 授業の取組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第3章 微分法、第4章 微分法の応用、第5章 積分法とその応用	微分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	ノート ワーク 小テスト 授業の取組み	○	○	○	17
	第5章 積分法とその応用 第1章 式と曲線	積分について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	ノート ワーク 小テスト 授業の取組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	数Ⅲ入試問題演習、数学入試問題演習	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての応用力をたかめ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用できるようにする。	ノート ワーク 小テスト 授業の取組み				20
							20
3 学 期	数Ⅲ入試問題演習、数学入試問題演習		ノート ワーク 小テスト 授業の取組み				10
合計							120